



自分の仕事ペースに合わせてトレードの仕方を試行しながら、熱心に僕ともやり取りをしてくれていました。

11月頃から実運用で堅実な利回りを出すようになり、以降は大きな凹みもなく安定してプラス収支(月間10~20%位)を出せるようになってきています。

現行のNexT+の期が終了してからも、こうして良い報告を聞かせてもらっているの僕としては非常に嬉しく思っています。

さて、ここから本題なのですが、図中の方の勝敗結果に注目してみてください。

勝ち負けの回数では「負け越している」のに、『利回りはプラス』なのです。

不思議ですか？

どっかい、これは全然不思議なことではなく

この数字は、ある程度『勝率とリスクリワード比』のバランスを考えて、一定の『型』にそって運用を続けていけば、割と難なく出せてしまう数字なのです。

ここからさらに、精度を上げて無駄な損切を減らしていくことによって

さらに自信をもってロットを張れる(=許容範囲内のリスクを最大限取れる)ようになり利回りはもっと向上するようになります。

僕は現在、この『利回りの最大化』をテーマにして『型』の改善を図っているところです。

画像にてやり取りしている方も、『MA収集⇒発散』と『3波理論』のセットアップと

『上位足の空間が広い所』を狙ってトレードする

という点をしっかり『型』として守ってトレードができています。

今後の課題になるのは、「負けが先行している状態」で

つい熱くなって余計な判断に基づくトレードをしてしまっている(自覚がある)点をクリアするために

『"負け"という結果も必ずある』という『納得』を得られるところまで場数を踏む事にあるでしょう。

型に対する信頼度を高めるには、初期段階ではデモトレード・少額運用による『フォワードテスト』から始まり

そこから徐々に資金量に応じてロットを上げて、徐々に『本運用』に移行する

という段階を踏んでいくのが王道と言えます。

これが一番、「不測の大損失」を被るリスクを小さく出来るうえ、『運用技術向上』にフォーカスした合理的な行動です。

この点、昨日のメルマガでも言及した『トレードを仕事として捉える』という点とも符合しますね。

どうしても、トレードのやり始めは「(自分に都合よく)勝つ」事ばかりに目が向いてしまい

『現実問題として必ず負け(損切)が付いて回る事実』を忘れてしまいがちです。

ですが、「100%勝ち続ける」ことは絶対不可能である以上、『上手に負ける』ことを実践するために

今回のやり取りで『勝率 / リスクリワード比 のバランス』を『型の構築』と併せて考える重要性についても

少し意識を向けてもらえたらいいかなと思います。